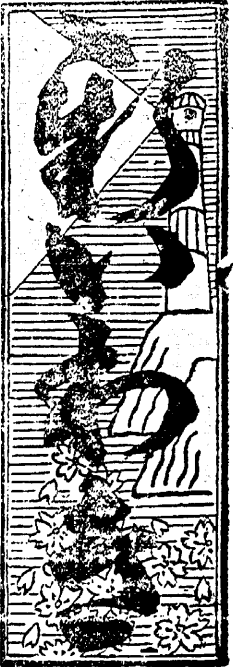


四月十五日 刊



小田炭礦 誕生す

流石小田氏は男の中の男 二十萬圓の債権を抛出す 地方財界好轉の一證左

常磐炭界に於ける磐城、入山、古河三大炭礦に次ぐ好開村小田炭礦株式會社は常磐炭界とん底の不況時であつた去昭和二年中業態極度の不振に陥つた結果當時の社長小田吉次氏は所有財産十六萬圓を抛出して同社の窮狀を救ひ更らに資本金百萬圓を六十七萬八千八百圓に減資して整理に努めた上社長を萩原申八氏に譲つて引退したが爾後萩原社長の献身的努力と去八年來の軍需インフレーションの余波による炭界の黃金時代再興として同社亦漸次社運好轉して來たので萩原社長は前社長小田吉次氏に對する負債元利合計二十萬圓を整理すべく去る一月總會に於て利子切棄て元金の半額約八萬圓を年賦償還による決済案を樹て、小田氏に正式交渉を開始したが小田氏は此の萩原氏の誠意に感激し自ら總額二十萬圓に達する債権を約八分の一である三萬五千圓の時價還により決済に應ずると聲明遂に去る十一日正式調印を終つたが小田氏が此の大英斷により二十餘萬圓の債権を僅か三萬五千圓を以て決済に應じたのは流石炭界の快傑たる小田氏の面目を躍如たらしむる美事として各方面から賞

榮譽の表彰旗に 披露と祝賀の宴

消防關係物故者の慰靈祭から 昨十四日平消防組に於て

平消防組が大日本消防協會から榮譽の表彰旗を授與された披露式は昨朝の如く昨十四日午前九時同町第一小學校に於て舉行され式は今日の榮物故者の慰靈祭から消防關係正面に祭壇を設けて神官の修飾型の如く齋主井上組頭、祝詞終つて島田警察部長その他、の祭文並に玉串奉奠ありて祭式終了直ちに功勞者の表彰に移り青沼町長から井上組頭以下(既報の諸氏)に状及び記念品を贈り引續いて前記表彰旗から榮譽の表彰旗を授與された披露式には町長の式辭、組頭の挨拶、大日本消防協會長外來賓多數の祝辭を以て式を終つたが前例による各支部長を證衛委員とする委員附託と決定別室に於いて協議の結果果左記の如く決定した旨報告された

縣下土木業者大會 昨日空前の盛會

佐々木健一郎氏幹事長に 散會の後谷口樓で懇親宴

(既報)縣下土木業者大會は昨十四日午前十時かき平町警署(既報)縣下土木業者大會は昨十四日午前十時かき平町警署

座講談

コレクシオンは蒐集とか取立とか集金の謂だが同音語で正誤、添削、矯正、折檻の意にも通ずる何々資料のコレクシオンと云へば前者に通じコレクシオンが却て改惡と云へば後者、

惜まる、櫻花に 雨、雨、無情の雨

三萬余の人出を見た昨日の賑ひに變る今日の寂しさ

改修事務所長以下関係各方面百數十名出席して空前の盛會からの來賓多數あり組合員二を極めた

佐藤庄太郎代議士 圍碁二段に昇段

縣下は勿論議員の最高段 近く平町に祝賀大會を開催

本縣下第一位、名物家議院控、藝に本郡内鄉村出身本因坊門室基打中の最高段者として議院内の花形たる佐藤庄太郎代議士が遂に素人の域を遙に脱立人の巔を摩す二段の棋級を獲得した佐藤代議士を生んだ地方圍碁界は空前の活氣を呈してゐる

拾遺歌中題詞の『さ』は 現今の湯本(三原)町に懸く

(飯坂温泉元湯の鯖湖に強引、 建碑せるは無稽、不當の極み)

既にして北條幕府時代に成に應はしむことであらう。所の右の歌集に收められたのは、夫木に示す之が名は果して事實で、拾遺のものとは相違ん、眞傳とすると、師氏なる人はサハコノミニにとつては海平安上期に在りし、即ち醍醐

此の吉報に躍り上つたのは佐藤代議士門下の逸足平町基客の最強者山崎徳三郎氏を始め初段濱崎善三郎氏等は佐藤代議士の昇段を記念するために近く昇段祝賀圍碁大會を開くべく目下各般の準備を進めてゐる

北海道巡査 採用試験

北海道巡査採用試験は今日午前九時から平町警署に於て執行されたが受験者は十二名であつた

優良納税表彰

平町では十七日午前九時から優良納税組合優良納税者の表彰式を同町會館で開催する

高坂山林内て女 混りの賭博

石城郡の内鄉村高坂山林内て昨十四日午後二時頃櫻花に酔ふ人々の浮かれを外に丁半の合戦で火花を散らしてゐる所

謹告

來十八日縣社子鍛倉神社大祭當日、例年通り謹而休業仕候
但日本銀行並ニ縣金庫事務ハ平常通り取扱申候

平町銀行組合

石城町村長會評議員會は今日午前十時から平町會館に於て開き學級増加による縣立磐城高女の寄附問題を協議した

巧な詐欺

昨十四日午後三時頃平町仲間町六五六越三郎の留守宅に主人大越から頼まれたと稱し年令三十五六歳の男が訪れ花籠、花筒等約六十圓分を主人から受け取り立去つたが聞もなく歸宅した大越が巧みに詐取されたものとして平町に届出たので目下犯人殿探中

留守宅から

